

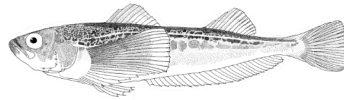
26.ハタハタ

主な漁業と漁期

沿岸漁業

(刺し網・小定置など)：周年

沖合底びき網：10～翌5月



渡島胆振海域

生態

◆分布・回遊

産卵前の沖合索餌期には、室蘭近海では8月下旬～11月に水深150m前後の等深線に沿って各所に濃密な群を形成し、噴火湾では6～11月に水深50～80m前後に分布します。産卵期には、11月下旬から12月にかけて沿岸域に接岸します。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は11月下旬～12月です。

◎産卵場は森、落部、有珠、虻田、虎杖浜の各沿岸に形成されます。

◆成長・成熟

(3月時点)

	体長 (cm)		体重 (g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	10	11	12	18
2歳	16	17	55	82
3歳	18	20	96	151
4歳	20	23	126	244

*) 体長：北浜(1968)より

*) 体重：2006年6～12月の漁獲物測定資料より

*) 加齢の基準日：5月1日

◎成熟年齢

・オス：0歳から成熟する個体がみられ、1歳でほとんどの個体が成熟します。

・メス：1歳でほとんどの個体が成熟します。

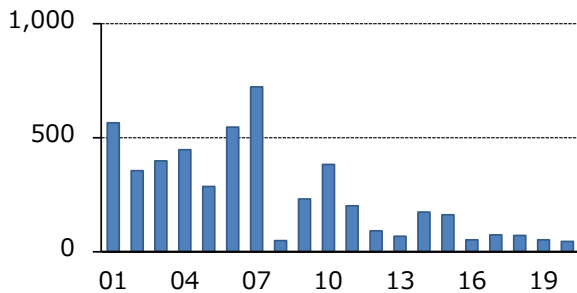
資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] 漁獲量

2020年度の漁獲量は45トンで、前年より減少しました。資源水準は、2012年度以降は低水準で推移しています。翌年にかけての資源動向は、大幅な資源増をもたらす年級群の加入が期待しがたいと考えられることから、横ばいと判断されました。少ないながら一定規模の産卵親魚が確保されており、資源の利用状況はおおむね適切と判断されます。比較的豊度の高い加入があった場合、過度の漁獲圧を加えずさらに後続の加入を促すことが重要です。

漁獲量 (トン)



2020年度
の水準



低水準

2021年度
の動向

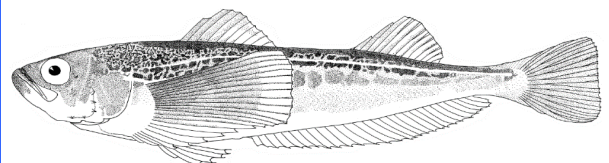


横ばい

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆漁獲圧を現状より高めないようにし、豊度の高い年級群の出現による資源の回復を待つ必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0143-22-2327